

平成29年度第3回東北農政局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日:平成30年4月13日)

開催日及び場所		平成30年3月20日(火) 仙台合同庁舎A棟7階東北農政局会議室		
委員		大泉 裕一(公認会計士・税理士) 杉山 茂雅(弁護士) 宮坂 一平(ジャーナリスト) 村上 敏郎(弁護士)		
審議対象期間		平成29年10月1日～平成29年12月31日		
審議対象案件		186件 うち、1者応札案件 32件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
抽出案件		7件 うち、1者応札案件 3件 (抽出率3.8%) (抽出率9.4%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
抽出案件内訳	工事	一般競争	4件 うち、1者応札案件 3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			工事希望型競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			随意契約	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	測量・建設コンサルタント等業務	一般競争	2件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			簡易公募型競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			その他の指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			随意契約	公募型プロポーザル
		簡易公募型プロポーザル		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		標準型プロポーザル		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
		その他の随意契約		0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
	物品役務等	一般競争	1件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		随意契約(企画競争・公募)	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		随意契約(その他)	0件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	(特記事項) なし。			
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問 (詳細に記述すること。)	回答等 (詳細に記述すること。)
			別紙のとおり。	別紙のとおり。

委員会による意見の具申又は勧告の内容[これらに対し部局長が講じた措置]

なし。

事務局： 東北農政局総務部総務課

(注1)必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所要の変更を加えることができる。

(注2)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

別 紙

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答等
< 工事編 >	
<p>(和賀中央農業水利事業 黒清水導水路(その1)建設工事)</p>	
<p>当該工事は1回目の入札が不落で再入札したと言う説明だが、1回目の不落業者は2回目の落札業者か。</p>	<p>違う業者である。</p>
<p>予定価格は、1回目と2回目では違うのか。</p>	<p>2回目の方が、若干高くなっている。</p>
<p>1回目の応札業者は4者と言うことだが、2回目が1者応札になっている理由は何か。</p>	<p>入札時期が10月末となり、手持ち工事の関係で、参加者が1者となったと推察される。</p>
<p>(津軽北部二期農業水利事業 十三湖機場(その1)工事) (平成29年度国営施設応急対策事業 雄国山麓地区第1号揚水機場応急対策(その2))</p>	
<p>ポンプ補修等の工事は、全体的に既設の業者が落札する傾向にあるのか。</p>	<p>改修の内容にもよるが、今回のような補修の場合、製作した業者が落札することが多い。 更新するような場合は違ってくる。</p>
<p>他者が補修する場合、部品が製作できないのか。</p>	<p>部品を製作することは可能だが、既設業者の場合は、容易に製作できる。</p>
<p>ポンプは、耐用年数等考慮すれば、新品の方が安上がりではないのか。</p>	<p>ポンプ等を設置した後は、施設管理者が通常のメンテナンスを行っている。 また、一定期間経過後、機能診断をした結果、更新・補修等必要な場合は、向こう40年間のLCC(ライフサイクルコスト)を考慮した設計を行っており、今</p>

	回は補修が経済的だという判断である。
ポンプの耐用年数は何年か。	ポンプ等の金物の標準耐用年数は 20 年である。修繕後の耐用年数についても、20 年ということになる。
LCC を考慮するということだが、ポンプは、省エネ機能とか性能アップしたものに交換するということはないのか。	<p>基本的には、現状の機能をそのまま継続していくという考えで比較検討している。</p> <p>ポンプは、電化製品等のように、毎年新製品が出るとかバージョンアップするというものではない。</p> <p>水量が決まっているため、それにあった性能であれば問題ない。</p>
(庄内あさひ農地保全事業 排水トンネル抗口覆工その他工事)	
第 1 回と第 2 回の変更理由を、詳しく説明してください。	<p>1 回目は処分土の受入先との工程調整の結果、工期内での搬出が難しいことから、工期を延長した。</p> <p>2 回目は、処分土の搬出にあたり、シートの破損箇所より雨水が浸入している事が判明し、土台の土まで撤去するよう土地の所有者から要望があり、実績数量に基づき数量変更を行った。</p>
多少の酸性土であれば、簡単に処理できるのではないか。	この土はもともと泥岩であり、その中に重金属が入っていたため、確実に処理する必要があった。
<測量・建設コンサルタント等業務編>	
(平成 29 年度広域基盤整備計画調査 安積疏水地区ほか施設長寿命化計画策定業務)	
設計業務の中の、問診調査とは何か。	造成等した施設は、土地改良区が維持管理しており、施設の不具合とか維持管理費等を聞き取りする調査である。
この業者は、第 3 四半期の業務件数か	この業者は、全国規模で事業展開して

<p>ら見て、受注件数は妥当なのか。</p>	<p>いる最大手であり、技術者数に見合った受注をしていると推察される。</p>
<hr/>	
<p>(岩手山麓農業水利事業 南部主幹線用水路用地測量調査(その 1) その他業務)</p>	
<p>第3回変更で、契約金額が減となった理由は何か。</p>	<p>数量精査による変更減である。</p>
<p>変更契約するときの基準はあるのか。</p>	<p>変更契約の流れとしては、受注者から申し入れがあり、発注者が仕様書にある変更条項と照らし合わせて妥当であると判断した場合変更契約をする。 なお、明らかに数量減になった場合等、発注者から申し入れることがある。</p>
<p><物品・役務編></p> <hr/>	
<p>(平成29年度東北農政局庁舎移転等業務)</p>	
<p>2回変更が行われているが、数量等あらかじめ決まっていたのではないか。</p>	<p>契約締結後、当初予定していなかった物品を搬入する必要が生じたものである。</p>
<p>追加作業の7項目のうち、一番金額が高い作業はなにか。</p>	<p>レイアウトの変更等により予定より多くの日数を要したことにより、作業員が増え、人件費が増嵩したものである。</p>
<p>執行調書では、当初から比べて第2回変更の予定価格が40万ほど増えて、契約額が100万ほど増えているのは何故か。</p>	<p>変更契約の予定価格は、当初契約の請負比率が加味された金額であり、積算価格上は、100万ほど増えている。</p>
<p>当初の積算根拠を明確にしていれば、予定価格も大幅に増えることはなかったのではないか。</p>	<p>作業量全体として大幅な増とはなっていないが、日数が大幅に増えたためである。 搬入先を空けレイアウト後に搬入、空いた執務室をレイアウトし搬入するという玉突き状態で移設せざるを得なかったため、当初計画より時間を要することになったものである。</p>